

韓国恩山面から 中学生使節団が来町

8月3日(月)、日野町と姉妹都市を結んでいる韓国恩山面から、恩山中学生10名と校長、教諭を含む合計13名の使節団が3泊4日の日程で来町されました。

父子が結ぶ日韓の絆

日野町と恩山面を結びつけたのは鬼室父子の縁。恩山面には百済復興運動で戦死した福信將軍をまつる恩山別神堂があります。そして福信將軍の子、鬼室集斯をまつっているのが小野にある鬼室神社です。

祖先の絆を深めながら歴史文化を学び相互理解や友好親善を深めようと、平成3年姉妹都市提携以来、双方の中学生が隔年で行き来し交流をしています。

日野町を訪れた恩山中学生は今回の来日で101名となりました。



▲日野祭の囃子でお出迎え

使節団一行は3日、午後6時頃に日野町に到着し、役場を表敬訪問。その後、ビジネスグリーンホテル日野で国際親善協会主催の歓迎会が開かれ、ホームステイ受入れ家庭などを交えて和やかにパーティーが行なわれました。



▲お琴体験では、片言の英語や手拍子で中学生のみんなが教えてくれました



▲短時間で仲良しに



▲小野地区の国際交流広場にて

温かな交流を育む

4日は、朝から日野中学校を訪問し、校舎見学や琴の演奏を体験し日本文化に触れました。

また、日野中学生は音楽部のさわやかな歌声や吹奏楽部の迫力ある演奏を、恩山中学生はリコーダーやオカリナの演奏をお互い披露し合いました。その後はランチルームで一緒に給食を食べました。

給食は日野の特産品である蔵尾ポークやブルーメの丘のヨ

ーグルトなどが出されました。参加者は170名を超え、にぎやかに中学生同士の交流を深めました。

生徒会の角田百代さんは「初めは言葉の壁が不安でしたが、お互いジェスチャーや片言の英語を使って、恩山面のみんなは覚えた日本語も交えて、意思疎通ができ、いい体験になりました。また友だちと恩山面に行きたいです」とお話しいただきました。

午後からは、小野地区を訪問し、鬼室神社を見学し、小野地区の皆さんと交流しました。

5日は、グリム冒険の森で染め体験を楽しみ、この交流が長く続くことを祈りながら互いに別れを惜しみ、翌朝、日野町をあとにされました。

◆問い合わせ先

国際親善協会(企画振興課内)
☎ 6550



ひのっこだより

日野町内の幼稚園や小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みの内容を紹介していきます。



桜谷幼稚園

【教育目標】

未来をひらく

心豊かでたくましい子どもの育成

～人・自然・文化との豊かななかかわりを通して～

☆ 学びいっぱい (学びのある遊び)

☆ 友達いっぱい (仲間づくり)

☆ 笑顔いっぱい (体と心づくり)

今年度の園児数は、短時部・長時部合わせて3歳児19名、4歳児17名、5歳児18名、計54名です。

幼少期からの「歩育」に着目し、園外保育や、朝のジョギング・リズム運動で体づくりをしています。



大好きなプール遊び



楽しいリズム運動



様々な人と交流しながら、体と心の開放感や温もりを感じる機会を大切にしています。

平成27年度から、桜谷幼稚園は、隣接する保育所さくら園と合同運営を開始し、3・4・5歳児(短時部・長時部)が桜谷幼稚園舎で生活をしています。子ども達の人数が増えた分、遊びを生み出す力が豊かになり、友だちの刺激を受けながら生き生きと毎日を送っています。今年度も体づくりに取り組むなかで、友だちと励まし合ったり認め合ったりし、「やってみよう。」「やってみたら楽しい。」と、前向きな気持ちにつなげ、集団での育ちを重要視しています。



朗読ボランティア風の声さん



コーラスグループまるやまさん

必佐幼稚園

大正7年に幼稚園として設立し、とても歴史のある必佐幼稚園です!!

【教育目標】 わくわく、にこにこ、のびのび遊ぶ必佐っ子の育成

めざす子ども像: 自己を発揮できる子・自信を持って取り組める子・思いやりを持って人と関われる子

元気いっぱい友だちと遊んでいます。



◀PTAの方に看板を新しく作っていただきました。ありがとうございます。

地域と共に育てよう日野の宝を!



小学校との連携

◀1年生とさつまいもの苗を植えたよ。小学校の音楽会にも参加しているよ。



絵本との出会いを大切に!

幼児期に1冊でも多くの絵本に出会うことは情操教育に繋がると考えています。自分で選んだ絵本、先生に読んでもらって楽しかった絵本、お家の人と一緒に読んだ絵本との出会いを大切にしていきたいと思っています。



▶地域のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に遊んだよ!

長寿学級



◆問い合わせ先 教育委員会事務局 学校教育課 ☎6564

町では、居住地によって通学できる小学校を定めていますが、特例により町内の他の小学校へ通学し、小規模校の特色をいかした授業を受けることができる「通学区域の柔軟化対応モデル事業」を行っています。詳しくは問い合わせ先、または各小学校へお問い合わせください。